第２号様式（第４、第８関係）

事業計画書（変更事業計画書）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請者 | (フリガナ)氏名又は名称 | ○○○〇 |
| 代表者の役職及び氏名 | ○○○〇 |
| 住所又は所在地 | (〒　　－　　)○○○○ |
| 現在の事業の概要 | ○○事業 |
| 設立年月日又は起業年月日 | 〇年〇月 | 従業員数 | 〇名 |
| 資本金（個人事業主は記入不要） | ○○○〇円 |
| 事業実績(直近２期分又は２年分) | 決算（期・年） |  |  |
| ①営業利益 | 千円 | 千円 |
| ②経常利益 | 千円 | 千円 |
| 連絡先 | 担当者の役職・氏名 | ○○○○ | 電話 |  |
| FAX |  | メールアドレス |  |
| 計画内容 | ＤＸ促進モデル事業名 | デジタル技術を活用した製品、サービス、ビジネスモデル等の新規開発に係る事業名 |
| 内容現状、目標（成果物）、技術的課題、その解決方法、期待される効果を踏まえて記載してください。 | * 現状
* 目標
* 技術的課題
* 解決方法
* 期待される効果

※事業の概念ではなく、どのような事業を行うか具体的かつ端的に記載する。 |
| 成果目標 | ・少子化による人手不足対策の観点から、現在〇〇人体制で行う作業をAIによる○○機器を導入することで、省力化・業務効率化により、〇〇人体制で行うことが可能となる。・○○年までに、DX技術を用いた○○システムを確立する。 |
| 目的 | ・省力化機器の活用で、○○の業務効率化を図り、経営改善を目指す。・ベテランへの過度な依存からの脱却。過去の知見やデータを蓄積、管理することで、いつでも、どこでも、だれでも○○することが可能となる。 |
| 先行技術及び新規性 | ・単独の自社のみの省力化、省人化にとどまらず、業界全体に波及するといった広域的なメリットを発揮する取組みについて記載する。・現在、AI導入による〇〇作業はどこの○○でも行われていないため、○○業界では初の試みになる。・AI技術を用いてデータ化した情報の精度をあげることで○○業界における課題解決につなげる。 |
| 事業化を踏まえた課題・見通し | ・問題を解決するには大量のデータと検証の試行回数が必要となる。・AIは大量のデータを学習させていくため、事業化までには時間を要す。 |
| 実施体制 | 主体事業者：○○○○研究機関　：○○○○連携事業者：○○○○協力機関　：○○○○※実施体制においては、スタートアップ企業との連携を図ること。 |
| 事業工程 | 令和〇年度 |
| 作業工程 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 |
| 導入検討 | 〇 |  |  |  |  |
| 発注・納品・検収 | 〇 | 〇 | 〇 |  |  |
| 導入実証 | 〇 | 〇 | 〇 |  |  |
| データ収集 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 |  |
| 精度分析・評価 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 |  |
| 実装化検討 |  |  |  | 〇 |  |
| 成果報告会 |  |  |  | 〇 | 〇 |